

令和7年度 活動記録

事業所緑化

川崎市みどりの事業所推進協議会



東日本旅客鉄道株式会社 エネルギー企画部 川崎発電所

令和7年度川崎市環境功労者表彰受賞事業所

市民 150 万本植樹運動

梶ヶ谷第1公園植樹祭

令和7年10月18日(土)開催

川崎市では、緑豊かなまちづくりを実現するため、150万本の植樹を目指す「市民150万本植樹運動」を推進しており、取組の一環として植樹祭を開催しております。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」は、この事業に協賛しており、各事業所敷地内への植樹や、植樹祭への支援、社員の参加などの協力をしています。

令和7年度は、高津区の梶ヶ谷第1公園で植樹祭が開催されました。式典には、川崎市みどりの事業所推進協議会を代表して会長事業所が出席しました。

当日は多くの市民・関係者が参加し、オタフクナンテン、サツキツツジの苗木約120本が植樹されました。



目次

| | | | |
|--------------------|----------------------------|----------|---|
| 会長あいさつ | 味の素株式会社 川崎事業所 | 参事 白土 元嗣 | 1 |
| 市長あいさつ | 川崎市長 | 福田 紀彦 | 2 |
| 事業所の取組 | | | |
| | 東日本旅客鉄道株式会社 エネルギー企画部 川崎発電所 | | 3 |
| | 株式会社東芝 小向事業所 | | 4 |
| 川崎市みどりの事業所推進協議会の活動 | | | |
| 幹事会の記録 | | | |
| 川崎市からのお知らせ | | | |





川崎の目指す「みどりの将来像」の実現に向けて

川崎市みどりの事業所推進協議会

会長 白土元嗣

(味の素株式会社 川崎事業所 参事)

平素より「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。当協議会は令和4年度に50周年を迎え、令和8年度は54年目となります。50年以上にわたり続いていることは加盟する事業所様の努力の賜物と思っております。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」は昭和47年に「川崎市工場緑化推進協議会」として設置されて以降、川崎市と事業所の官民が一体となり、協働で緑化活動と緑化意識の向上に取り組む、発足当時3.6%であった緑化率が、現在では10%を超え、緑化面積も約38haから約144.4haに拡大しました。ひとえに川崎市をはじめ、事業所の皆様のご指導、ご尽力の賜物と改めて、厚く御礼を申し上げます。

また、我々「川崎市みどりの事業所推進協議会」は、川崎市の様々な取り組みを積極的に展開し「みどり」による安らぎある、まちづくりに大きな役割を果たし、都市緑化の推進の一翼を担う事業所の緑化を推進してまいりました。

昨今、地球温暖化の影響と考えられる気候変動により、台風大型化、集中豪雨、渇水、大雪、大規模山林火災といった自然災害につながる事象が顕在化している状況で、生物多様性、生態系サービスなどの自然資本が変化し、劣化してきていることが心配です。自然資本への依存度・影響、そしてリスク・機会を評価する国際的な枠組みである自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）提言に基づく情報を開示することが企業に求められています。

令和6年7月に川崎市は市制100周年を迎え、象徴的な事業となります全国都市緑化かわさきフェアが全国で初めて「秋（令和6年10～11月）」と「春（令和7年3～4月）」の2期に分けて、富士見公園、等々力緑地、生田緑地の3つの会場で開催されました。加えて、駅周辺や商業施設など市域全体で、我々「川崎市みどりの事業所推進協議会」の取り組みを市民、地域の団体の皆さんとともに、全国に発信することができました。

全国都市緑化かわさきフェアは終了し1年が経過しましたが、川崎市では「みどりの将来像」がとりまとめられました。「人と自然が共生する幸福な社会」の実現に向けて、「緑のつながり」「人のつながり」「みどりを活かしたまちづくり」から好循環を生み出し、自然と都市が成長し続ける川崎を目指しています。当協議会と致しましても事業所の緑化に取り組んでまいります。

最後になりましたが、今後も引き続き講演会、施設見学会などを通じて会員相互の連携・親睦を深めてまいりますので、皆さまの積極的な御参加をよろしくお願いいたします。また、「最幸のまち かわさき」を目指し「みどり」ある豊かな地域づくり、まちづくりの推進に、今後も取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続き皆様の御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。



「人と自然が共生する幸福な社会の実現」をめざして

川崎市長 福田 紀彦

「川崎市みどりの事業所推進協議会」の加盟事業所の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より本市の緑政行政に対し御理解、御協力をいただきますとともに、本市の発展に多大なる御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

事業者の皆様におかれましては、長年にわたり事業所の緑化の推進に御尽力をいただいております。貴協議会の設立当時3.6%であった事業所敷地内の緑化率が、現在では10%を超え、約144haもの広大な緑地面積となり、本市のみどり豊かなまちづくりに大きく貢献いただいております。

さて、本市におきましては、市制100周年や全国都市緑化かわさきフェアを経て、地球環境に関する世界的な潮流を踏まえ、環境先進都市として、次の100年に向けたみどりのまちづくりを推進し、人と自然が共生する幸福な社会を実現するため、目標とすべきみどりの将来像を設定しております。

まちなかへと緑のつながりを広げていき、ネイチャーポジティブを推進していく取組や、多様な主体と緑を通じて生まれた人のつながりをさらに広げていく取組により、みんなで好循環を生み出し、自然と都市が成長し続ける川崎を目指すこととしており、貴協議会のネットワークを活かして、事業所のみどりと地域とのつながりをつくり、質の高い緑の保全・創出につなげ、生物多様性の豊かなまちづくりを進めていきたいと考えております。

人と自然が共生する幸福な社会の実現に向けては、皆様の事業所の緑化推進の取組と本市との連携の重要性は、今後ますます高まってまいります。引き続き、本市の緑政行政への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業所の取組

東日本旅客鉄道株式会社 エネルギー企画部川崎発電所

事業所概要

川崎発電所は、1930年国鉄時代に鉄道省の川崎火力発電所として運用を開始しました。当時は石炭を燃料としていましたが、現在は効率的で環境負荷の少ないクリーンなエネルギー発電を行い、首都圏の電車を走らせるための発電を行っています。

所在地:川崎市川崎区扇町8番3号

敷地面積:66,879㎡

緑地面積: 6,150㎡

計画緑地: 570㎡



緑化および環境への取組

◆構内緑地維持

敷地内には、芝生のほか、桜やツツジ、ケヤキ、ツバキといった樹木が、四季に合わせて色とりどりの花を咲かせ、発電所構内で働く人々の癒しとなっています。毎年、芝刈りや草刈り、除草薬散布、樹木の刈り込み等の手入れを行い、これらの緑地を適切に管理するとともに、昨年度は傷んだ芝の張替え(175㎡)を実施し、緑地の維持に努めています。



◆環境保護活動

地域社会への貢献活動の一環として、川崎市主催の市内統一清掃活動に合わせて、扇町地区清掃活動に参加しています。鶴見線扇町駅から発電所正門前までの道路、扇町駅構内の清掃を行い、地域の皆さまや鉄道を利用されるお客さまが快適に暮らせる取組みにも尽力しています。



◆クリーンエネルギー活用(果敢な挑戦)

緑地とは少し主旨が異なりますが植物の根から発生する糖や微生物から発生するエネルギーを使ったLEDライトを玄関前に設置しました。現在は鉢植え程度ですが、環境に優しい発電所を目指し、植物とエネルギーを融合させた取組みを行っています。



事業所の取組

株式会社東芝 小向事業所

事業所概要

所在地:神奈川県川崎市幸区小向東芝町1番地

設立:1937年(昭和12年)12月3日

敷地面積:198,925.98㎡



東芝小向事業所は、1937年(昭和12年)に川崎市小向地区において、東京無線(現・東芝の前身)の工場として発展しました。その後、1961年(昭和36年)には総合研究所(旧・東芝中央研究所)が発足し、研究開発拠点としての機能を強化してきました。当事業所は、通信機器、テレビ、レーダーなどの生産拠点としての発展と変遷を経て、現在では社会インフラ分野、電子デバイス分野、先端・基盤技術の研究開発分野に至るまで、幅広い分野を担う複合事業拠点となっています。

また、住宅街に隣接し、多摩川の自然環境にも近い立地であり、地域に根差した歴史ある拠点として存続しています。

緑化および環境への取組

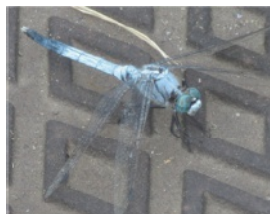
事業所内では、緑化の維持・保全活動に取り組み、桜やイチヨウ、ケヤキ、クスノキなど多様な樹木が生育し、四季折々の美しい景観を身近に感じることができます。今後も、緑地整備や自然観察を通じて生物多様性への理解を深め、自然と共生する環境づくりを進め、その定着を図る継続的な活動を推進していきます。



桜並木



イチヨウ並木



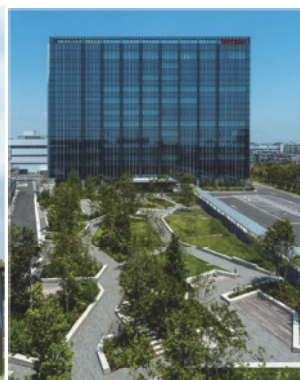
事業所内で観察された動植物
左からシオカラトンボ、ヤマトシジミ、メジロ

緑化推進の一環として、「緑のカーテン」活動を毎年継続して実施し、夏季にはゴーヤの育成・収穫による環境への関心を高めるとともに、従業員参加型の緑に親しむ機会の創出と、環境意識の醸成につなげています。

研究開発新棟のエントランス前に、2025年4月「イノベーション・パレット・ガーデン」を新設オープンし、常緑樹や落葉樹を織り交ぜた自然環境と歩行空間を創出するとともに、ワークプレイスとしても活用できる場を整備しました。ガーデンの一部エリアでは、多摩川流域の植物を用いた緑地帯を設け、流域の植物や生物多様性、地域の自然環境に配慮した空間を形成しています。これらの緑地は、従業員が日常的に自然に触れ、四季の移ろいを感じられる憩いの場として親しまれています。今後も、自然との調和を大切にした環境づくりを進め、快適で潤いのある環境の維持・向上を図っていきます。



2011年から続けている緑のカーテン活動



研究開発新棟及び「イノベーション・パレット・ガーデン」の緑化

川崎市みどりの事業所推進協議会の活動(令和7年度)

5月27日(火) 第53回定期総会・講演会

定期総会につきましては、第48回から第50回までは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面開催を行っていましたが、令和5年度以降は会場に集まっての開催を継続しています。当日は会員事業所の皆様のご協力もあり、滞りなく、懇親会まで終えることができました。

【定期総会】

参加者 22事業所 28名

場所 川崎市役所本庁舎 2階ホール



【講演会】

演題 「川崎市の里山の魅力」

講師 鈴木 貢次郎 氏

(東京農業大学 地域環境科学部
造園科学科 教授)



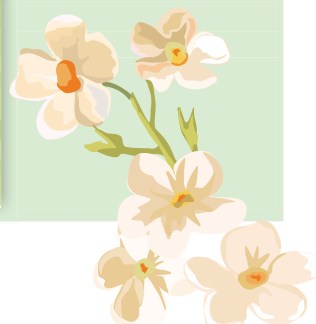
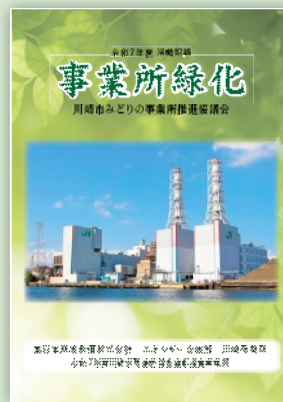
広報活動

機関誌「事業所緑化≪令和7年度活動記録≫」

発行年月 令和8年5月

発行部数 150部

配布先 会員事業所ほか





6月30日(月) 川崎市環境功労者表彰

表彰事業所 東日本旅客鉄道株式会社 エネルギー企画部 川崎発電所
部 門 緑の保全及び緑化の推進
場 所 川崎市役所本庁舎 2階ホール



表彰理由

平成18年に、川崎市と「川崎市みどりの事業所の推進に関する協定」を締結し、現在も敷地面積66,879.33㎡のうち、6,720.78㎡(10.05%)の緑化面積を維持しており、環境や景観などの向上を踏まえた緑化に取り組んでいるため。

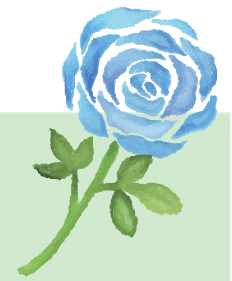
10月10日(金) かわさきみどりのカタリバ(トークイベント&交流会)

出席事業所 味の素株式会社 川崎事業所
場 所 川崎市役所前広場



内容

「川崎市緑の基本計画」の改定に向けたワークショップ&トークイベントが初めて開催されました。川崎市の「これまでのみどり」の歩みと、「これからのみどり」について考えるトークイベントには、都市づくりで活躍する学識者や全国都市緑化かわさきフェアで活躍した方とともに、会長事業所である味の素株式会社 川崎事業所が登壇しました。



11月上旬 緑化啓発グッズ配布

- 配布植物 ① サクラ
② 幸福の木<マッサン> ※選択制

【マッサン】

原産地 熱帯アフリカ

特徴 太い幹の上に、中央に黄色いストライプが入った葉を広げる姿が特徴で、丈夫で育てやすく、また、「幸福の木」という縁起の良い名前で呼ばれていることから、人気があります。



2月24日(火) 講演会・施設見学会

事業所緑化の優良施設を見学し、緑化に対する意識の高揚や、緑化推進への動機付けを図ることを目的として、施設見学会を実施しています。令和7年度は、同日に開催した講演会の後に、花王株式会社 川崎工場を見学しました。

【講演会】

演題 「TNFD 企業に開示が求められる
経緯について」

講師 田代 隆一 氏
(住友林業緑化株式会社 環境緑化事業部
みどり価値推進部)



【施設見学会】

場所 花王株式会社 川崎工場
参加者 14 事業所 18 名



幹事会の記録

第1回幹事会

令和7年5月15日 川崎市役所本庁舎17階1702会議室

- 1 第53回定期総会について
- 2 第53回定期総会に付する議案書（案）について

第2回幹事会

令和7年7月28日 川崎市役所本庁舎18階1803会議室

- 1 緑の基本計画について
- 2 みどりの将来像について
- 3 2027年国際園芸博覧会 川崎市・自治体出展エリア出展・ガーデン設計の御協力について
- 4 施設見学会・講習会について

第3回幹事会

令和8年1月22日 川崎市役所本庁舎17階1702会議室

- 1 施設見学会・講演会について
- 2 第54回定期総会について
- 3 令和7年度機関紙「事業所緑化」について
- 4 市民150万本植樹運動植樹祭の実施報告について
- 5 「公共のみどり」の制度等に係るヒアリングへの御協力について



川崎市からのお知らせ

企業等と連携した新たな緑地保全施策「かわさき里山コラボ」

身近な里山は、癒しの空間であるだけでなく、生き物の生息生育機能、二酸化炭素の吸収源、緑のダムとしての機能など、我々の生活に欠かすことのできないものです。

あまり知られていないかもしれませんが、実は川崎市にも多くの里山が残されております。

現在、下表のとおり保全管理活動に関する協定等を締結し、年2～3回、竹伐採やササ刈りなどの保全管理活動を行っています。回数を追うごとに、綺麗になっていく里山を実感していただいています。御興味のある事業所の皆様はぜひ事務局までお声掛けをお願いします！！

| 保全管理活動地区 | 締結先企業等 |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 栗木山王山特別緑地保全地区(麻生区栗木:2.0ha) | 富士通株式会社 Fujitsu Technology Park |
| 久末東特別緑地保全地区(高津区久末:0.8ha) | NECプラットフォームズ株式会社 |
| 王禅寺東特別緑地保全地区(麻生区王禅寺東:0.9ha) | 川崎信用金庫 |
| 岡上丸山特別緑地保全地区(麻生区岡上:1.3ha) | 岡上小学校 及び 和光大学 |
| 久末イノ木特別緑地保全地区(高津区久末:0.9ha) | 日本ロレアル株式会社 |
| 水沢特別緑地保全地区(宮前区水沢:0.9ha) | まいばすけっと株式会社 及び 公益財団法人かながわトラストみどり財団 |
| 西黒川特別緑地保全地区(麻生区黒川:11.0ha) | 株式会社地域環境計画 |
| 真福寺谷特別緑地保全地区(麻生区王禅寺西:0.2ha) | アジア航測株式会社 |
| 久末小貝谷特別緑地保全地区(高津区久末:1.1ha) | 日本ミニヤ株式会社 |
| 下作延西谷緑の保全地域(高津区下作延:0.4ha) | 日油株式会社川崎事業所 (覚書) |



保全管理活動の様子

公共のみどり

公開性が高く、地域の景観形成に寄与している事業所の緑化地などを「公共のみどり」として認定しています。

| 令和6年度公共のみどり事業所一覧 |
|-------------------------------|
| 三菱ふそうトラックバス株式会社 |
| 花王株式会社川崎工場 |
| 富士通株式会社川崎工場 |
| 味の素株式会社川崎事業所 |
| 株式会社富士通ゼネラル |
| ベトリファインテクノロジー株式会社 |
| エリーパワー株式会社川崎事業所 |
| 第一高周波工業株式会社京浜事業所・水江 |
| (株)朝日プリンテック川崎工場 |
| 【不動産信託受託者】三井住友信託銀行(株) |
| 株式会社東芝 小向事業所 |
| サントリーホールディングス(株)サントリー商品開発センター |



令和6年度事業所緑化データ

| | | |
|------------|---------|---------------|
| 協定締結事業所 | 62事業所 | 緑化率10%以上達成事業所 |
| 緑化率 | 10.3% | 10%台 21事業所 |
| (昭和47年発足時) | 3.6% | 20%台 10事業所 |
| 緑化面積 | 144.4ha | 30%台 4事業所 |



編集後記

令和7年度も植樹祭をはじめとする、市の緑化事業に御協力いただきありがとうございました。昨年度も多くの方に御参加いただきました「市民150万本植樹運動」では、毎年みどりの事業所推進協議会からの御寄附により、お土産用の花苗・苗木等配布させていただいております。御協力いただきました事業所の皆様に、この場をお借りして御礼を申し上げます。

本年度も協議会の運営について、御理解・御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

発行日 令和8年5月

発行 川崎市みどりの事業所推進協議会

(川崎市建設緑政局グリーンコミュニティ推進室)

電話 044-200-2380

川崎市緑化基金

みなさまの御協力を
お願いします。

川崎市内の「緑」を守り・育て・増やす
ために基金への御協力をお願いします！



皆様からいただいた寄附金は
緑化基金として活用し、
緑化推進や緑地保全、協働推進など、
都市緑化の推進に
役立てられています。



緑化基金を活用した主な事業

都市緑化整備事業、緑化推進事業、緑のボランティアセンター運営事業、保全緑地育成事業など

基金への寄附と税の控除について (法人の場合)

確定申告によって、寄附された金額を法人税法(第37条)の規定により、損金参入することができます。

お問合せ

川崎市 建設緑政局
グリーンコミュニティ推進室

電話 (044) 200-1203 FAX (044) 200-3973

(各種助成などの手続)
(公財) 川崎市公園緑地協会

電話 (044) 711-6631 FAX (044) 722-8410

